

力強く第一歩を踏み出そう

…「大阪損保革新懇」発足アピール…

仲間のみなさん！

私たちは、今日ここに『二十一世紀の平和・民主主義・損害保険産業の民主化をめざす大阪損保革新懇話会（大阪損保革新懇）』が、多くの出席者のもと、盛大に結成総会を迎えられたことを喜びをもって報告するものです。

私たちはこの半年、「大阪損保革新懇」の発足をめざし、「準備会」「発足世話人会」「呼びかけ人会議」と徐々に輪を広げながら、仲間のみなさんに参加と協力を呼びかけてきました。短期間ながら多くの仲間の賛同と支持を得て、本日を迎えました。

世話人会としても、今後しっかりと信頼を得る活動を通じてみなさんの期待に応えていかねばならないと痛感しています。

さて、この革新懇は「全国革新懇」では第五二〇番目、「大阪革新懇」では第八十七番目に誕生したことになります。「全国革新懇」は「あらゆる地域と職場に革新懇を」を呼びかけていますが、私たちの革新懇は「主として大阪に住まないし勤務する損害保険産業に関係する者・関係した者」で組織されていますから「地域・職種・職場」混合型の革新懇ということができません。

さらに、この革新懇には、全損保現・元組合員、損保労連現・元組合員、損保単独労組現・元組合員、代理店、アシヤスターのみなさんが参加しています。

このことは文字通り思想・信条・所属組合・現役・〇日の違いを越えた、損害保険産業関係では初めての横断的組織だということです。

したがって、この革新懇は、「全国革新懇」が掲げる「考え方や立場が異なっても『革新三目標』を一致点にして自由に話し合い、必要な協力・共同を進めていく」という方針を実行するのにふさわしい特徴を持っているということができます。

私たちは、遅まき参加の革新懇ですが、求められる課題に力一杯挑戦していく決意を今日確認しあいました。

仲間のみなさん！

「革新懇」運動は、暮らしや平和、民主主義を脅かす現在の日本の現状を変え、「国民が主人公」の日本、すなわち革新の政府を実現したいと願うすべての人々、団体、政党が力をあわせる運動です。現在、すべての都道府県と職場で五〇〇を超える「革新懇」が組織され、活動を展開しています。

「全国革新懇」は次の三つの共同目標を掲げています。

① 大企業中心の横暴をやめさせ、国民生活最優先の経済を実現する

② 憲法を守り、自由と人権、民主主義を拡充する

③ 日米安保条約をやめ、平和・非核・非同盟・中立の日本をめざす

いま、自民党政治は、政治・経済のあらゆる面で行き詰まり、多くの国民・市民は怒りとともに「なんとかしたい」という思いをつのらせています。

先の参議院選挙で自民党は惨敗しましたが、橋本政権に変わって登場した小淵政権は、「解散総選挙を行なえ」「消費税を三%に戻せ」「経済危機に有効な手立てを行なえ」「金融危機への公的資金投入はするな」「金融危機は銀行の責任で…」などの国民の圧倒的・切実な要求を黙殺しています。今なお財界からの政治献金を受け取り、新たに防衛庁汚職が発覚するなど金権汚職体質は依然続いています。発足当初から支持率は低迷し、『政権末期症状』といわれています。

「金融ビッグバン」のもとで、金融・損害保険産業でも激しい変化が続いています。

損保経営者は危機感をあおり、企業の生き残りを強調し、働く者に犠牲を強いることにより打倒を図ろうとしています。

私たちは国民・市民の一人として、また損害保険産業に働き、働いてきた者として、幸せで豊かな二十一世紀を迎えたいと念願しています。

私たちも「全国革新懇」の掲げる三つの共同目標を支持し、「国民が主人公」の二十一世紀の日本を実現したいと願うすべての人々、団体とともに奮闘し、損害保険産業が真に国民の生活と安全に役立つ産業としての役割を発揮できるよう運動を展開していきたいと思えます。

仲間のみなさん！

全損保は来年度結成五〇周年を迎えます。

この間、大阪地協も賃上げ・臨給闘争、労働条件改善のたたかいはじめ「安保」「全損保分裂」「住友四君不当解雇」「東海賃金差別」「富士賃金差別」「朝日不当介入」「損保民主化」「平和と民主主義」などの諸闘争をたたかい、また、他産業の仲間とともに「御堂筋総行動」を成功させてきました。

私たちは昨今の政治・経済・損保情勢を考えるとき、現役とOBがともに手を組んで「革新三目標」や損害保険産業の民主化をめざし奮闘することが今こそ求められていると感じざるを得ません。

私たち「大阪損保革新懇」は、損害保険産業の労働組合と組合員が、損害保険産業で働くすべての者の雇用・労働条件を守り損保の民主化、日本の平和と民主主義のために奮闘されることに協力・共同していきます。

また、私たちは、年金・社会保障・医療・介護・平和・核廃絶・教育・食料・環境などの幅広い市民的課題に取り組み、住民本位・国民本位の社会をめざして努力していきます。

仲間のみなさん！

私たちが、今後具体的に取り組む課題・テーマとして、次のような多岐にわたる声が寄せられています。

- 「大阪府財政再建計画」で府民の暮らしはどうなるのだろうか？
- 大阪府も財政赤字なら大阪市も『ATC』『WTC』『OCCAT』、市営交通でも大赤字、市民の暮らしはどうなるのだろうか。
- 「大阪オリンピック」は赤字をこれ以上増やすことにならないか。環境破壊の心配はないだろうか。
- 文部省教育課程審議会「教育課程」答申、大阪府教育委員会「大阪府における教育改革の基本方向」は「イシメ」や「不登校」問題の解決になるのだろうか？
- 「関西空港第二期工事」「神戸海上空港建設調査」が始まるが、大阪湾汚染や騒音は心配ないだろうか？
- 能勢町に次いで大阪市環境事務局平野工場でもダイオキシン汚染が明らかになったが他の焼却施設は大丈夫だろうか？
- 大阪の歴史・自然・文化財などについて見学したり、勉強したい！
- 「〇：一五七」の心配はもうなくなったのだろうか？堺はじめ各市の学校給食はどう改善されたのだろうか？
- 東大阪市はどう変わったのだろうか、どう変わっていくのだろうか？
- 来年春のいっせい地方選挙では「府民本位」「市民本位」の政策を掲げる首長・議員候補者を当選させたい！
- 「老人医療・介護」問題の話を聴きたい！
- 「金融ビッグバン」のもとで、銀行・証券・生保の職場はどう変わってきたか、他の金融労働者はどうたたかっているのか？
- 「金融ビッグバン」のもとで東京海上の戦略は何か？「T・A・P」は何をもたらしているか？
- 「朝日闘争」の早期勝利・解決を実現したい！
- 九九年「原水爆禁止世界大会」に代表を派遣したい！

今後、例えば「社会保障」「教育」「環境」「損保民主化」「文化・スポーツ」などの分科会の設置や、これらのテーマでの講演会・勉強会・見学会などの具体化を検討していく予定です。

仲間のみなさん！

私たちの革新懇は生まれたてホヤホヤの革新懇ですが、その思いと決意は高いという自信を持って、少しずつでも着実に前進を図っていきたくと考えています。

より多く広範な仲間がこの運動へ参加・協力・支持いただくことを心から訴えるものです。

一九九八年一〇月一六日

『二十一世紀の平和・民主主義・損害保険産業の民主化をめざす大阪損保革新懇話会（大阪損保革新懇）』